

# 学校だよい



\*編集部連絡先\*

〒257-0025 秦野市落合 500

TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118

ホームページ

<http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/>

今月号は、各部門課程のICT機器の活用を紹介します！

**B** 課程でおこなっているICT機器等の活用例を紹介します。一つ目は、アプリケーション

「classroom」を活用した学習です。スライド教材を一人一台端末に入れ、みんなで共同編集を行いました。好きな画像を音楽に合わせてたくさん貼って、みんなで一つのスライドを作り上げることができました。二つ目は、スイッチ教材を活用した学習です。子どもたちの得意な動きに合ったスイッチ教材を作成し、電子機器や玩具等に繋げて活動しています。スイッチは印鑑入れを改造し、握りやすく、微細な動きでも反応するようにしてあります。



共同編集の様子



マウスとスイッチ



玩具とスイッチ

**C** かもめでも、様々な学習でICT機器が活躍しています！小学生の朝の会では、「Keynote」

アプリで作ったスライドを、タブレット端末につないだスイッチを押して、自分で進めることができました。また、スイッチの先を電動じょうろやタブレット端末のカメラアプリに付け替えることで、アサガオにたっぷり水をあげたり、アサガオの成長の様子をたくさん写真に撮って観察したりすることもできました。さらに、他の児童生徒と一緒に朝の会をやる時には、みんなで交互にスイッチを押していく、全員で朝の会を進めることができました。

また、Cかもめでは毎年9月に、「プロロ」を使った「ロボットプログラミング選手権」に参加しています。自分たちで作ったプログラミングでロボットが動き、ロボット相撲をおこないます。昨年は残念ながら初戦敗退となってしまいましたが、今年は勝ち上がれるようがんばります。応援よろしくお願いします！



**D** 弘済からは、個別学習でタブレット端末のアプリを使った2人の学習の様子を紹介します。

まずは、記憶力を鍛えるアプリ「星々記憶」を使った学習です。物の位置や形、空間のレイアウトなどを視覚的に捉えることが苦手なので、パネルがめくられる順番や位置を記憶したり、神経衰弱をしたりしています。アプリでの学習を通して、徐々に短時間で記憶することや物の動きを集中して見ることができるようになってきました。ゲーム感覚で楽しめて、学習の始めに行うことでその後の学習にもスムーズに集中して取り組めています。余暇を広げるために学習の最後のお楽しみとしてもアプリを活用しています。もう

一つは、「キラキラお絵かき」というアプリを使い、画面をタッチして線が描かれる様子や音を聞いて楽しんでいます。タッチに即反応があるので、描く楽しさを味わえ、今では自分でペンを変えることもできるようになりました。画面いっぱいに描くようになりました。



E

E 高等部では、生徒一人一人の学びを支えるために、Chromebook や電子黒板を活用しています。

Chromebook では、取り扱い方法といった基本的な使い方を学習し、調べ学習を行うことで、自身の興味関心を広げ学ぶことができます。このように、実際に利用することで、情報活用能力の育成につなげています。

電子黒板では、映像やイラストのような教材の提示があることで視覚的にわかりやすく、学びの支援に活かすことができます。例えば、体力づくりを教室で行う際は、電子黒板を活用し、トレーニング動画などを視聴しながら、さまざまな運動をおこなっています。

こうした情報機器を学習に取り入れることで、視覚的にわかりやすく、また、音声入力やタッチ操作など多様な入力手段があることで、生徒の個々のニーズに応えることができます。

こうした取り組みを通して、社会の中で生きる力を身に付けられることを目指しています。



F

F 今回は、小学部6年生と中学部3年生の校外学習の事前学習の時の様子を紹介します。

校外学習に行く前には、いつ、どこに行くのかな?ということを確認します。その時に電子黒板を使って大きな画面で先生の話を聞きながら確認していきます。

行先を確認



行く日をカレンダーで確認

出かけた先には、何があるのかな、どんな勉強をするのかなといった内容を視覚的にも、また音声ありの動画でも確認しました。外食をする場合は、どんなお店でどんなメニューがあるのかを写真で見て、中3の生徒たちは、自分の食べたいものを選びました。選んだあとは、自分で選んだものをプリント学習によって、改めて確認しました。

大きな画面で写真や動画を活用することによって、事前学習がより効果的な学習になっています。



これを食べます！



G

G 部門では、さまざまな場面でICT機器を活用しています。

小学部では、タブレットを使って他部門・課程とのオンライン交流をおこなっています。画面越しに友だちとあいさつしたり一緒に絵本を楽しんだりする活動を通して、かかわりを積み重ねています。

中学部では、タブレット端末の描画アプリを活用して、押し花作品のレイアウトに挑戦したり、秦野支援学校のキャラクター『いぶきちゃん』をオリジナルのタッチで描いたりしました。イメージを広げながら描いた絵は、作品として校内外に展示をしています。

高等部では、パソコンを使って、実習先へのお礼状の作成に取り組んでいます。自分で文面を考えたり文字入力を頑張ったりしながら、気持ちをこめて作成しています。

また、G部門では、朝の会や帰りの会でタブレットのコミュニケーションアプリを活用しています。日直係が、少ない支援で自分の力で司会進行をつとめる姿も多くみられます。ICTを活用することで、自己表現や社会とのかかわりを広げていく力をこれからも育んでいきます。

